

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-11 処理施設整備事業									
	□支 援 部 門									
主管課	環境施設課				関連課		環境センター(名越クリーンセンター・今泉クリーンセンター)			
分野名	生活環境									
目標 (目標値)	名越クリーンセンター周辺地域と今泉クリーンセンター周辺地域の大气環境調査、土壌環境調査を行い、焼却による周辺環境への影響を調査する。									
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考					
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯						
運営資源 状 況	事業の対象者数									
	決算値(千円)	13,839	13,419	14,382						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	13,839	13,419	14,382						
	人員配置数	1.0	1.0	2.0						
	人 件 費(千円)	8,814	8,968	18,189						
協 働 の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	22,653	22,387	32,571						
	市民1人当 りの経費(円)	128	126	184						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(焼却終了まで年度)			
環境基準に適合	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標を達成後退		実績値	100.0%	100.0%	100.0%					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
ダイオキシン類削減対策施設整備事業(新)	13,839千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要	名越・今泉両クリーンセンター周辺環境調査(土壌及び大気環境調査)、今泉クリーンセンター事務所借料の支払い事務。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	なし
課題解決のための取組	なし
未解決の課題	なし

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		 B	課長等名
		③有効性 ○			環境施設課長
		④公平性 ○			小柳出 延之

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
ダイオキシン類削減対策施設整備事業(新)	1107	名越CC及び今泉CC周辺大気環境調査	6,613	4,158	■適切 □見直し余地あり
	1210	今泉CC事務所借料	9,681	9,681	■適切 □見直し余地あり
主な個別事業					
主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
主な個別事業					□適切 □見直し余地あり
主な個別事業					□適切 □見直し余地あり